

法人名 (一財)山梨県地場産業センター

その他の法人用

【法人の概要】

代表者名	理事長 近藤 誠	所管部(局)課	観光部観光プロモーション課		
所在地	山梨県甲府市東光寺3-13-25	電話番号	055-237-1641		
ホームページURL	http://www.kaiterasu.jp/	E-mailアドレス	info@kaiterasu.jp		
資本金(基本財産)	30,000 千円	設立年月日	昭和59年1月10日		
主な出資者等	出資順位	出資者名等		出資額	出資比率
	1	甲府市		10,039 千円	33.5 %
	2	山梨県		10,000 千円	33.3 %
	3	山梨県水晶宝飾協同組合		2,100 千円	7.0 %
	4	北杜市		508 千円	1.7 %
	5	甲府商工会議所		500 千円	1.7 %
	6	(一社)山梨県機械電子工業会		500 千円	1.7 %
	7	山梨県家具工業株式会社		500 千円	1.7 %
	8	山梨県ニット工業組合		500 千円	1.7 %
	9	山梨県ワイン酒造組合		500 千円	1.7 %
	10	南アルプス市		452 千円	1.5 %
	出資その他	18 団体(者)		4,401 千円	14.7 %
	その他			千円	0.0 %
				30,000 千円	
設立経緯等	地場産業の健全な育成を図るために必要な事業を行い、もって地域経済の振興及び地域住民の福祉の向上に寄与することを目的に、昭和59年1月に設立した。 ワイン、水晶、印伝など21業種にも及ぶ地場産業製品の展示販売及び施設の管理運営を行っている。				

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業1 山梨県域の地場産品の展示即売	山梨県内の地場産品(ジュエリー、印伝、ワインなど)の展示即売および販売促進	3,447	3,461	3,460
事業2 施設の管理運営	ホール、会議室、展示販売所、レストランなどの施設の管理運営	107,123	109,710	102,698
事業3 地場産業まつりの開催	地場産品の普及を目的とした地場産業まつりの開催(年2回:9月、2月)	8,310	9,013	8,357

【組織】

	年度	平成 29 年度					平成 30 年度					令和 元 年度									
		職 員	プロ パー	県 職 員 派遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	県 職 員 派遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	県 職 員 派遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他		
役員等	各年度 4月1日現在																				
	理事(常勤)	1					1					1									1
	理事(非常勤)	4					4					4									4
	監事(常勤)	0					0					0									0
	監事(非常勤)	2					2					2									2
	評議員	6					6					6									6
計	13	0	0	0	0	13	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13		
職員	管理職	0					0					0					0				
	一般職員	2	2				3	3				3	3				3	3			
	臨時職員	21					19					14									14
	非常勤職員	0					0					0					0				
計	23	2	0	0	0	21	3	0	0	0	19	17	3	0	0	0	0	0	14		
令和元年度 プロパー職員の 年齢構成 (令和2年4月1日現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計						平均年齢	平均年収						
	男性				1			1						役員 常勤						(千円)	
	女性				1			2						職員 常勤						(千円)	
	合計	0	0	0	2	0	1	3						49						3,226	

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減
正味財産の状況	基本財産等運用益	178	178	178	0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	0	0	0	0
	自主事業収益	116,806	117,053	113,051	△ 4,002
	受取補助金等	3,173	3,203	3,079	△ 124
	その他の収益	13,252	13,316	13,328	12
	経常収入 計	133,409	133,750	129,636	△ 4,114
	事業費	11,756	12,474	11,818	△ 656
	うち人件費	0	0	0	0
	管理費	117,515	121,666	114,828	△ 6,838
	うち人件費	45,224	48,742	42,270	△ 6,472
	経常支出 計	129,271	134,140	126,646	△ 7,494
	当期経常増減額	4,138	△ 390	2,990	3,380
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	142	90	39	△ 51
	当期経常外増減額	△ 142	△ 90	△ 39	51
当期一般正味財産増減額	3,996	△ 480	2,951	3,431	
(法人税等調整)	△ 4,688	△ 2,871	△ 2,091	780	
当期指定正味財産増減額	△ 11,808	△ 11,802	△ 11,802	0	
正味財産期末残高	797,866	782,713	771,771	△ 10,942	

(単位:千円)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減
財務状況	流動資産	57,813	52,048	50,994	△ 1,054
	固定資産	782,641	769,580	755,275	△ 14,305
	資産 計	840,454	821,628	806,269	△ 15,359
	流動負債	35,921	35,582	34,498	△ 1,084
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	6,667	3,333	0	△ 3,333
	うち長期借入金	6,667	3,333	0	△ 3,333
	負債 計	42,588	38,915	34,498	△ 4,417
	正味財産	797,866	782,713	771,771	△ 10,942
	うち基本財産への充当額	30,000	30,000	30,000	0
うち特定資産への充当額	715,500	702,801	689,318	△ 13,483	

(単位:千円)

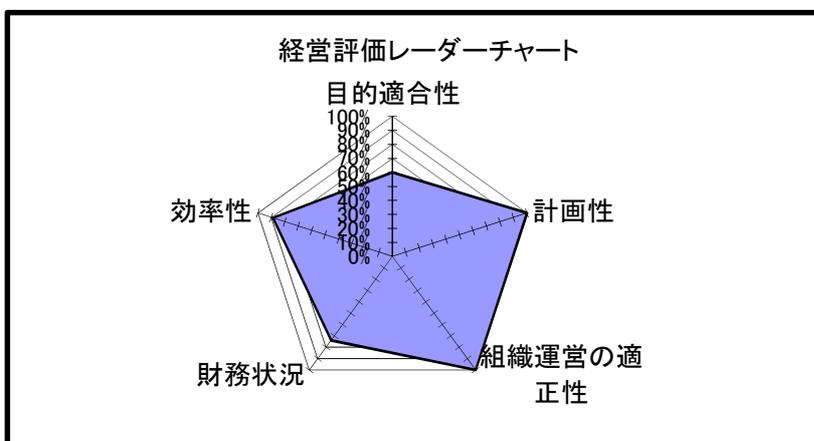
項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	0	0	0	0
	県の財政的関与の割合(%)	0.0	0.0	0.0	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の状況(平成30年度)】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
県債務負担 実際残高	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	10	6	60.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	10	10	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	10	10	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	46	34	73.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	18	16	88.9%
合 計		21	94	76	80.9%



【警戒指標数】

目標達成度	
経常損益	
流動比率	
借入金依存率	
債務超過	
県の将来負担見込	
回収不能債権	
県の債務処理補助等	

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	財団の設立目的に沿って事業を進めるとともに、時代のニーズや顧客の変化に合わせあり方を検討し事業展開を行っているが、来館者数・売り上げ額・貸室利用収入ともに29年度より減少した。
計画性	経営計画の達成状況を毎月、把握・分析し、具体的な改善策を講じている。
組織運営の適正性	各種規程の整備や会計書類の適正性の担保をはじめ、活動内容や財務情報の積極的な公開など、組織運営の適正性を図っている。
財務状況	経常損益が29年度の赤字から黒字になっており、流動比率が前期よりも多少プラスになっている。
効率性	経常収入は前期よりやや減少したが、人件費・管理費の削減に取り組み、減少人件費比率・管理費比率は前年度より減少した。施設入館者数も前期より減少したが、職員1人当り施設等利用人数は前期より増加した。
総合的評価	経費の削減や改善策の実施に努めており、人件費比率・管理費比率は前年度より減少した。29年度の経常増減額は赤字に転じたが30年度は黒字になり、努力をしているが特に目的適合性、財務状況の指標で低い得点率となった。



対応策	引き続き経費の削減を図るとともに、更なる情報発信に努め、消費者ニーズを踏まえた施設運営を行うことにより、来館者数・売り上げ額・貸室利用収入の増加を図る。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	財団の設立目的である地場産業の健全な育成を図るため、地場産品の展示即売などの事業や、消費者・企業などそれぞれのニーズに合わせた事業展開を適切に行っているほか、観光エージェントへの働きかけを行い積極的な誘客を図るなど、観光振興の拠点としての役割も果たしているが、長期的に見ると来館者数などは減少傾向である。今後は新しい中期計画に基づき、ターゲット別、品目別に方針や戦略をたて、来館者数及び売上げの増加を図る必要がある。
計画性	平成30年度に策定した5カ年の中期計画の目標に対し、適確な日次、月次の業績分析を行っている。今後も、継続的に営業実績の分析を行い、課題については組織内で共有するとともに、具体的な対応策を検討・実施し、法人全体で効果的・効率的な業務運営を実践して行く必要がある。
組織運営の適正性	決算書作成や監査等には税理士などが関与する体制になっており、また、法人内での意思疎通やリスク管理が実践されていると認められる。さらに、財務情報等をホームページに掲載するなど、外部に対し法人運営に関する情報を積極的に公開し、組織運営の透明性を担保している。
財務状況	平成30年度の経常利益については、黒字となった。2期連続で5%以上減少していた流動比率も増加となった。継続的・安定的な法人運営のためには、事業収入を増加させる必要がある。そのためには、事業の検証・見直しを行うとともに、関係団体等とも協議する中で、より収益性の高い新たな事業展開を検討する必要がある。
効率性	人件費比率、管理費比率ともに、前年度より減少し効率性が高められている。今後も、売上高や貸館の利用率の向上に努めるとともに、水道光熱費等の削減など、経常的な費用の縮減に努める。
総合的評価	人件費比率、管理費比率の減少、経常利益の黒字化等の結果から、昨年度に比べ得点率が向上している。今年度から、平成30年度に作成した中期計画に基づき評価を行っているが、目標数値に対する達成度は9割程度であるため、財政状況等を鑑みながら、入館者数、売上額、貸室利用料の増加の取り組みを充実させる必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合評価 ランク	<p style="text-align: center;">A</p> <p>得点率 80.9 %</p> <p>警戒指標数 0</p>	<p>A 得点率80%以上かつ警戒指標なし</p> <p>B 得点率70%以上80%未満または警戒指標が1</p> <p>C 得点率60%以上70%未満または警戒指標が2</p> <p>D 得点率60%未満または警戒指標が3以上</p>
総合的所見	<p>・平成30年度は、当期経常増減額が黒字に転換するとともに、平成16年度の施設整備に伴う長期借入金の返済が完了するなど、財務状況の改善がみられた。また、職員の退職に伴い人件費が減少し、人件費比率が低下したこと、水道光熱費の削減等により管理費が減少し、管理費比率が低下したことから、効率性の評価が向上し、A評価となった。</p> <p>・一方で、施設入館者数、貸室利用件数が減少したことで、販売手数料や施設利用料収入が減収となるなど、経常収入は減少している。</p> <p>・さらに、令和元年度に甲府市からの運営費補助金が廃止となっていること、今後施設の老朽化などによる修繕費用の増加が見込まれることから、利用者ニーズに合わせた事業展開や観光エージェントへの働きかけによる誘客の促進、広報強化による貸室利用件数の増加等に取り組み、経常収入の増加に努め、安定した経営基盤の確立を図っていく必要がある。</p>	



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>・観光バス誘致に向けたエージェントへの働きかけや、過去の貸室利用者への再利用の働きかけなどを行い、入館者数及び貸室利用件数の増加を図る。今後も引き続き、きめ細かい営業活動を行い、旅行業者の新規開拓を積極的に図るとともに、利用者に継続して利用・来館していただけるよう、館内イベントの強化や取扱商品のブラッシュアップ、また、貸室サービスの充実に努めていく。</p> <p>・長期借入金の返済が平成30年度に終了したため、修繕費を含めた今後の施設運営については、経営状況を踏まえ順次検討を進めていく。</p>
--